

### 市長選挙について

森 建人



〔質問〕選挙は市民が政治に参加できる重要な機会である。

10月に市長選挙が行われるが、過去の投票率は、昭和59年で90.81%、平成12年で69.04%、前回の平成28年で59.06%と下がってきており、このまま投票率が下がり続けると、選挙結果が必ずしも民意を反映しているとは言えなくなる。

〔答弁〕〔選挙管理委員会事務局長〕手指用や記載台用などの消毒液、職員などにはマスクや

フェイスガード、ゴム手袋を準備し、投票者には消毒済みの鉛筆を使用してもらう。

投票者数の多い投票所には、ビニールカーテンスタンドを置くことや、受付に整列担当職員を配置することも考えている。

期日前投票所は大会議室に変更し、入場券の裏面に期日前投票宣誓書を印刷し、事前に記入していただくことで待ち時間の短縮を図る。

併せて、公用車による巡回や広報しろいしへの掲載により周知を行うこととしている。

〔質問〕投票所が災害により、避難所として開設された場合の対応について伺う。

〔答弁〕〔選挙管理委員会事務局長〕総務省より、建物内で投票所と避難所を分割し、両立

して行うよう通知されており、第一小学校、第二小学校、鷹巣コミュニティセンター、ホワイトキープ、各公民館が投票所と指定避難所が重複している。

危機管理課と協議の上、災害の状況や建物の規模により、両立または指定避難所の変更を行うなどで対応したい。

〔質問〕投票率の向上策について伺う。

〔答弁〕〔選挙管理委員会事務局長〕投票について関心を持ってもらう機会として、高校生の選挙事務体験を継続して行う。

また、市内に本社がある企業に対し、宮城県選挙啓発サポーターに登録いただく。

さらに、市内小売店の店頭で啓発グッズを配布するが、新型コロナウイルス感染症防止対策を整えて実施する。

### 【その他の質問】

◎GOOTOトラベルキャパシティについて

### 子どもの心のケアハウス運営支援事業について

佐藤 秀行



いただいたと考えているが、見解を伺う。

〔答弁〕〔教育長〕本市のケアハウス事業は、不登校だった児童・生徒が学校復帰を果たすなど一定の成果を挙げており、複雑化、多様化する課題に対応するためにも、その果たす役割はますます重要になっている。

本市の課題の一つである不登校問題に対応するためにも、ケアハウスは何らかの形で存続していきたいと考えている。

〔答弁〕〔市長〕本市にとって、この事業は必要なものと考えている。

子どもたちが安心して学校に通うために、さまざまな支援の手は重要であり、県にも強く要請しながら、この事業の重要性を強く受け止め、検討していきたいと考えている。

### ◎各種交流事業について

〔質問〕本市の将来を担う子どもたちが、他国との歴史や文化の違いを理解、尊重し、共に生きる力、コミュニケーション能力を身に付けることをねらいとして実施する予定であった、新規事業の中国上海市への中学生派遣、継続事業のオーストラリアへの中学生派遣が、今年度は両事業とも実施されなかった。

次年度の取り組みについて、一人でも多くの生徒が貴重な体験ができるよう、配慮ができないものか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕本年度の両事業が中止となったのは本来に残念である。派遣を目指して頑張っていた中学生の心情については、重く受け止めている。

来年度の実施計画については、このことも考慮しながら検討していきたいと考えている。